



息子らの巣立ちに一喜一憂

道央自衛隊父兄会 工藤 幹栄



我が家は夫婦で自衛官をしており、男の子を3人授かりましたが、周りの協力のおかげで仕事を辞めることなく今日まで過ごしております。男の子が3人もいたら誰か1人くらいは自衛官になってくれるかしらと、少年工科学校を受験させた長男は合格通知までいただきましたが地元の高校に進み、地元の高校に進んだ次男は、部活も陸上競技やスキーを選ぶ等、団体よりも個人競技を好み、あまり自衛隊には向いてなさそうだったのですが、高3の夏に「自衛隊に入る」と、親としてはびっくりしましたが、内心ラッキー!☆

かくして平成23年春、我が家は自衛官が3人となり、職種が同じにならないようにと思っておりましたが、次男は後方職種を選び母である私と同じ連隊に所属となりました。現在は、機甲科の父と同じ駐屯地で、戦車部隊を支援しています。先日と同じ訓練に親子で参加していたらしく、主人も内心嬉しかったのではないのでしょうか。入隊前は親子の会話もあまりなかったのですが、入隊後は共通の話題ができて主人は喜んでくれています。

息子はというと、最近、陸曹候補生の試験が近いと父からの撒が飛び、耳を閉じている様子…なかなか本腰を入れて勉強していません。新隊員前期教育の終了式で「父の定年まで

には陸曹になる。」と宣言していたのを実現する日は来るのでしょうか。

学生時代はひょろひょろだった身体も入隊後鍛えられ、筋肉がついて頼もしく思いますが、苦手の「ボール投げ」を克服するのはもちろん、まずは一次試験に合格しておくれ〜と願う今日この頃です。さて次は、三男の高等工科学校受験です。兄達を見て、自分の進む道をどうするのか、決めるのは…今でしょ!!



息子が選んだ道を応援して

神奈川県自衛隊父兄会 大串 正治



この春、息子が海上自衛隊に入隊しました。私も妻も海上自衛官でしたので、これまでに幾度か自衛隊入隊について話をしたことがありましたが、息子にはまったくその気はありませんでした。

ところが、昨年、突然、自衛隊に入ると言ってきたときにはびっくりしました。横須賀教育隊に入隊後、教育の合間に幾度か電話がありました。最初は、これまでとはまったく違う生活に戸惑いながらもなんとかついていっているようでしたが、時間が経つにつれて、少しずつ自衛隊の生活にも慣れて訓練に取り組んでいる様子がかがえるようになりました。

4か月ほど経って夏休暇で帰ってきたときには、真っ黒に日焼けをして体つきもがっちりとなっており、とても逞しくなっておりました。話をしてみると、きついながらも同期の仲間と励まし合って駆け足や短艇訓練などに取り組んでいること、時間を守ることの大切さ、規律に対する考え方、そして自衛官としての心構えについてしっかりと自分の意見を持っており、入隊前とは見違えるほど物事に取り組む意識が変わっていました。これも、教育隊司令をはじめ分隊長や教官の皆様が厳しいなかにも優しさを持って一人ひとりを見守ってくださったお陰だと本当に感謝しています。

8月末には、教育隊を修業して部隊に赴任します。息子は、艦艇乗り組みを希望しており、艦での新たな生活が始まるとともに、専門的な知識・技能を身につけるためまだまだ勉強が続きます。自分で決めた道に向かってあきらめずに力を出し切れるよう、家族みんなで応援をしていきたいと思えます。今回はこのような投稿の機会をいただき、ありがとうございました。



長男に続き次男も入隊、応援していきます

福岡県自衛隊父兄会 松井 るみ



我が家は3人の息子がいる一人親家庭です。長男は、平成18年春に入隊し現在入間基地作戦システム管理群に配属されました。

入隊のきっかけは、元自衛官の知人から「自衛官の採用試験を受けてみたらどうですか?」と言われたことでした。「自衛隊? どんな所? 厳しい世界じゃないの? うちの息子は絶対無理よ!」と全く想像ができなかった私は、広報官の方から直接お話を聞き、長男に入隊を勧め、採用試験を受けることとなりました。

「入隊させる時、心配はなかったの?」と尋ねられることがよくありましたが「ない!」と言ったら嘘になります。心配と不安は日に日に増す一方で、寂しさもあってか入隊式当日は私の方の心が折れてしまいました。

そんな時に息子が「ちゃんとやっていくから心配しないで!」と声を掛けてくれました。その時の息子の声は震えていましたがとても頼もしく感じ、親がこんなに甘えていたらダメだ、もっと自衛隊の中身を知って力となり応援することが大事だと教えられました。

それから8年、今春は次男が入隊し、築城基地8空団司令部に配属され、来春には奈良の幹部候補生学校に入校予定です。私の今の楽しみは、航空祭などの各基地のイベントに出かけることです。

普段、息子達の働く姿を見ることができない分、同じ年頃の隊員さん方を見ては、「頑張ってるね!」という気持ちで触れ合える時間がとてもいいです。

各地でたくさんのご父兄とも知り合いができ、情報交換をしながら交流し楽しい時間を共有しています。ほんとうに小さなことしかできませんが、これからも息子や自衛官の皆様方を応援させていただきたいと思っています。



困難を乗り越えた息子

長野県自衛隊父兄会 山崎 伸



息子が高校3年在学中、民主党政権、リーマンショック、デフレスパイラルでの経済低迷、それに加え、東日本大震災、大学を卒業しても就職は難しく、息子の進路には、本当に苦勞し決めかねていました。幸い、身内に海上自衛官がいたので、話を聞き、受験してみたらどうかと、私から息子に話を切り出したことを覚えています。

上田地域事務所の指導をいただき、当時競争率の高かった、陸上自衛隊一般曹候補生に合格できました。のんびり屋の息子がやっていけるのか、とても心配しましたが、年月が経つうちに、心身共にたくましくなりました。配属された北富士駐屯地において、第1特科隊の検閲に私の家内が見学に行ったおりに、「これが私の息子か?」と思うほど、きびきび素早く訓練を行っていました。

総理大臣を迎えての中央観閲式にも、参加させていただきました。どしゃ降りの中、整然とした行進に「こんなに立派になって」という思いと「毎日の訓練の厳しさの賜物」と胸にこみ上げるものがありました。

今年、息子の友人達も大学4年生になり、地元での就職活動を聞いてみると、厳しい採用に変わりはなく、行きたい所に行けない学生が多くいることを知り、親子共々、5年前の進路の選択は間違っただけでなかったと今でも思っております。

今後、日本を取り巻く環境は大きく変わることが予想されます。地球の温暖化や気候変動、天変地異、その他幾多の困難にぶつかることでしょう。今まで以上に自衛隊の災害派遣も多くなります。

それでも、日本のため、世のため、人のためになってほしい! 子供のころに憧れていた正義の味方であってほしいと思います。



叔父のような海上自衛官になるんだ！

道南自衛隊父兄会 池田 忍

我が家の長男として生まれた息子は、幼い頃から時々一緒に遊んでくれた叔父である海上自衛官の姿に憧れていましたが、憧れではあるが自分には無理と決め込み、函館の高校を卒業すると前々から興味があった札幌のアニメ専門学校へ進み、卒業後、東京でアニメ制作会社に就職しました。しかしながら、幼い頃からの海上自衛官への憧れが捨てきれず、東京で自衛隊の採用試験を受け合格、晴れて平成22年4月、海上自衛隊横須賀教育隊に入隊しました。横須賀教育隊での教育は長男にとって想像以上の厳しい訓練だったと思います。その証拠に入隊してから教育修了までの間に体重が15kgも減少し、教育隊の修了式で息子の姿を見た時は「驚き!!」でした。さらに長男との会話の中に長男の体力的・精神的な成長を確認することができて大変感激し、またまた「驚き!!」でした。

「叔父のような海上自衛官になるんだ!」と教育期間中、心に決めて必死に頑張っていたと思い、母親として涙が出そうなのを必死にこらえていたのを今でも思い出します。

現在は、青森県の大湊基地で護衛艦乗組員として元気に勤務していますが、海外演習やソマリア沖派遣時には、「暑さに負けていないだろうか。」「厳しい環境の変化で体を壊し

ていないだろうか。」と気がかりなことが数多くありました。ある時、7ヶ月ぶりに海外派遣から帰国し、日焼けした元気な長男の顔を見た時は心から安堵し、安心しました。これから何回も海外演習や訓練などあると思いますが、体に気を付けて「憧れの叔父」のようになりっぱなし海上自衛官に成長してほしいと思っています。



いつのまにか...

千葉県自衛隊父兄会 三橋 栄

息子が大学4年の時に自衛隊の試験を受けるからと、突然言われた時は「エ! どうして…」と思いましたが、最後の期の曹候補士の試験に受かり、平成19年入隊が決まり、2年の教育期間の後、京都の福知山駐屯地に配属になりました。年に2、3回ほどしか実家に帰宅できなくなりましたが、充実した毎日を送っている様子でした。3年ほど前、突然レンジャー訓練を受けると聞かされ、ひ弱なイメージだった子が随分と逞しく育ったものだ、心の中でエールを送りました。

しかし結果は最終想定、あと2日という時にリタイア…。この挫折は本人にとって、何ものにも代えがたい大きな飛躍のためのステップになると、その時直感的に感じました。

その後、滝ヶ原駐屯地に異動後に良き伴侶に恵まれ、入籍しました。4月に結婚式を予定していましたが、何とまた3月からレンジャーを受けると言い出したのです。しかし、新妻がそれを理解してくれました。とはいえ、7月の結婚式直前まで連絡もままならなくなる上に、一人で結婚式の段取りを決めなくてはならないのです。

息子は今回、レンジャー徽章を貰うことができなかつたら自衛官を辞める覚悟で臨む強い決意を、一番お嫁さんが感じていました。そして7月1日の大雨の中、多くの隊員、家族等が見守る中、隊列を組んで皆逞しく(10キロ以上痩せましたが)帰還しました。毎日祈る思いでしたが、この7年間で見えるように強くなった息子を見て誇りに思います。

昨今のニュースは自衛官の家族にとって不安な要素ばかりですが、世界が本当に平和に暮らせる日が来ることを願っています。



航空自衛官娘二人への言葉「烈風勁草」

島根県自衛隊父兄会 高島 武雄

我が家の娘3人の内、長女・二女は夫婦して航空自衛隊美保基地に勤務しております。私は、東日本大震災が発生した平成23年3月、島根県警察を定年退職しました。「お父さんは島根を守るからお前は国を守れ」そう言って私は、長女を当時の自衛隊島根地方連絡部に連れていきました。地連の方のお世話になり平成11年、航空自衛隊に入隊させていただき現在に至っております。二女は平成17年、姉に倣い航空自衛隊員となりました。長女は松島基地に、二女は美保基地に勤務となり、二人とも職場で良き伴侶を見つけました。東日本大震災発生時、長女に電話したところ、松島基地内で避難し無事と知りましたが、娘婿や孫2人の消息は分かりませんでした。長女からの連絡は「飛行機が流される」と言う電話

で途切れてしまいました。防衛省からの連絡により長女夫婦の無事を知りました。孫にあつては1週間後に無事を知りました。震災後、長女夫婦は二女夫婦と同じ美保基地に転属し今は松江の実家から通勤しています。爺さん婆さんと孫達で自衛隊を応援しています。私は娘に「備えよ常に」「烈風勁草」と言っておりますが、日本と世界平和のために心してほしい言葉です。



「敬礼」

岩手県自衛隊父兄会 伊瀬 圭子

横須賀教育隊入隊式で、真新しい制服に身を包んだ娘の敬礼を初めて見て、別人かと思うような凛々しい表情と、背筋が伸び行進する姿に緊張感が伝わってきた。

性格は、おっとりとしていてマイペース、ちょっぴり泣き虫と、なんとも頼りなくて自衛官として仕事出来るのだろうか心配ばかりが先立った。中学の頃より続けてきた柔道の経験を生かしつつ、海が大好きで船に乗る仕事したいと、自ら募集案内所に向いて、広報官の方と話をしたと言った娘に驚かされ、希望を叶えて欲しいと背中を押した。

そして、待ちに待った入隊、思い出されるのは、教育期間中のリフレッシュ休暇で帰省した際、新幹線から降り立ち、少し恥ずかしそうに敬礼をして見せた姿だった。

娘は同期の方達と励まし合いながら訓練していると聞き、ただ見守るだけでした。

あれから無事に教育期間を終了し、念願の護衛艦勤務に就くことが出来ました。娘は、日々上司や同僚の方から教えて頂き、失敗も多いけれど、自分が出来る最大限の仕事をするだけだと話していた。

娘もほんの少しだが、自信が感じられ、社会人としての一歩に親としてこれ程嬉しいことはない、次に会う時は、更に逞しくなった姿を見たい。



あの頃と今では随分自衛隊感情も変わりました。

沖縄県自衛隊父兄会 古門 茂夫

全国自衛隊父兄会会員の皆さんこんにちは、沖縄は昭和47年にアメリカ合衆国から日本国に復帰しました。私も航空自衛官として復帰2年後、昭和49年に沖縄に赴任しました。米国から復帰したといえども米軍は、沖縄に沢山の基地を保有しやたらと米兵は沖縄の町中を傍若無人に闊歩していた時代がありました。沖縄の県民は随分と耐え苦しみを味わいました。また自衛隊に対する風当たりも当時は相当凄いのがありました。復帰して42年、今では自衛隊に対する理解が深まり、地元馴染み地域の為のボランティア活動、自衛隊父兄会も各地域のマラソン大会の給水支援など行っております。そして一番は自衛官と地元の女性との結婚が多くなった事です。因みに私の妻もメード

イン沖縄で、息子も自衛官になり現在は宇都宮で勤務です。また息子の嫁もメードイン沖縄、孫が生まれ「赤ちゃん教室では隊員と呼ばれ」ハイハイ匍匐(ほふく)はとても早くナンバー1、将来はやはり自衛官かなと思っております。この孫達が成人になる頃は平和で住み良い豊かな沖縄になって欲しいものです。最後に沖縄自衛隊父兄会も家族支援等でもっと幅広く活動を実施して行きたいと思っております。

